

日本語指導 ワークショップ

井上 恵子

1. ねらい

児童生徒の発達の段階と日本語力に応じた「日本語指導略案」を作成する。

2. グループ及び課題

グループ	日本語力	対象	課題及び教材
A	初期指導	小学生 低学年	「ひろこさんのたのしいにほんご」 9課「これは おとうさんのかぎです」
B	初期指導	小学生 中学年	「にほんごをまなぼう」 12課「じかんわり」
C	初期指導	小学生 高学年	「こどものにほんご」 7課「あめのひ」①
D1	JSLカリキュラム 「国語科」	小学生 低学年	光村図書2年下 「お手紙」
D2	JSLカリキュラム 「国語科」	小学生 高学年	教育出版5年 「言葉と事実」
E	JSLカリキュラム 「算数科」	小学生 中学年	啓林館4年 「がい数とその計算」
F	初期指導	中学生	「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 7課「そのりんごをみつけてください」
G	JSLカリキュラム 「国語科」	中学生	教育出版2年 「車イスから見た町」

3. ワークショップの進め方

時 間	活 動 内 容
11:50～12:00	1. ワークショップの進め方についての説明を聞く。 ・ねらい ・グループ分け ・課題 ・時間配分 ・指導略案の作成方法及び留意点 ・発表方法 ・パソコン
13:00～15:00	1. グループに分かれて、課題についての指導略案を作成する。 (パソコンの「指導略案の形式」に書き入れる) 2. 発表の準備をする。
15:10～16:10	1. グループ発表をする。 6分×8グループ (講評)

4. 指導略案作成上の留意点

- (1) 指導時間は小学校45分、中学校50分とする。
- (2) なるべく、4技能(聞く・話す・読む・書く)を入れる。
- (3) 過程の欄の()に時配を入れる。
- (4) 必要に応じて、日本語力に合わせて「リライト教材」を作成する。
- (5) 必要に応じて、補助資料として「翻訳教材」を活用する。
- (6) 必要に応じて、補助者との連携を図り、補助内容を明記する。
- (7) より分かりやすく、そして楽しく指導するための「教材・教具」を作成し、提示の仕方等、工夫する。

<用意してある用具等>

- ・模造紙
- ・画用紙
- ・板目表紙
- ・マーカー
- ・折り紙
- ・割り箸

日本語指導略案

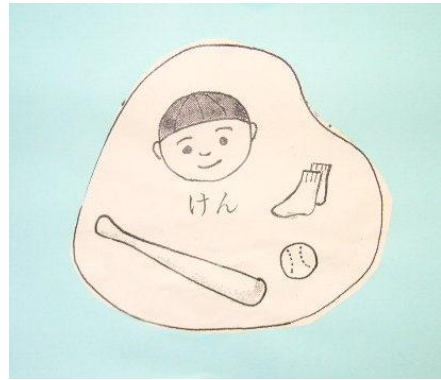
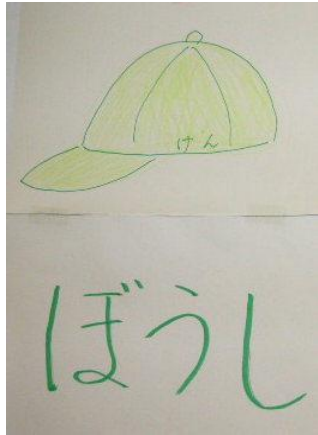
グループ	日本語力	対象	課題及び教材
A	初期指導	小学生 低学年	『ひろこさんのたのしいにほんご』 9課「これはおとうさんのかぎです」

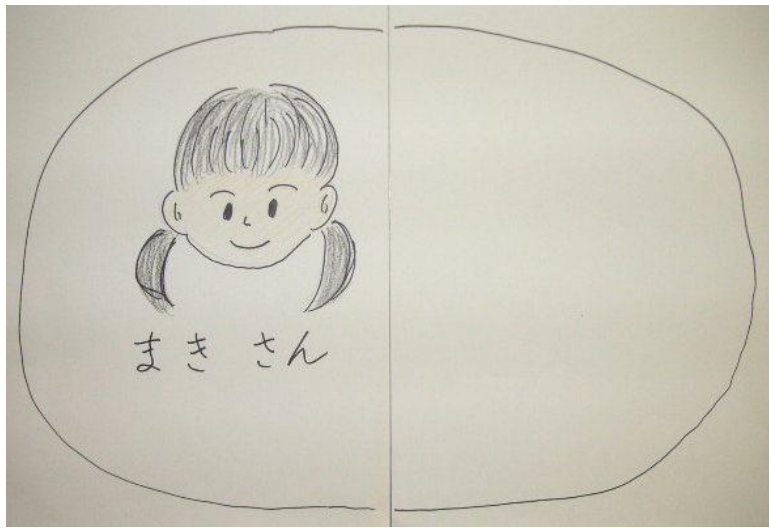
1. 目標 「～の」という所有の表現が分かる。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (10)	1 フラッシュカードや具体物で名前を確認する。 (かぎ、くつ、パソコン、めがね、バック、帽子、携帯電話、ギター、自転車、時計 など)	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声ではっきりゆっくり発音する。 ・必要であれば児童の母語も添える。 ・答えられなかった物は再度指導する。 	具体物 絵カード
展開 (30)	2 学習問題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ～の」という言い方を学習しよう。 </div> 3 教師が身に付けている物を使って「誰の？」と質問する。 4 教師と子どもの写真を貼った模造紙に、各自の持ち物を置かせる。 5 「～の」の言い方を練習する。	<ul style="list-style-type: none"> ・必要であれば児童の母語も添える。 ・児童が理解しやすい具体物を提示する。 (時計、眼鏡 など) ・物の名前につまずいてしまったら絵カードなどを示して支援する。 	具体物 模造紙
終末 (5)	6 友だちの物を提示して、「～の」という表現ができたか確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・表現につまずいたときは、資料や教科書などを示して振り返らせる。 	

作成した教具等





まきさん



ゆういちくん



たむらせんせい

日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	課題及び教材
B	初期指導	小学生 中学年	『にほんごをまなぼう』 12課「じかんわり」

1. 目標 日にちや時間割の読み方が分かる。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (10)	1 カレンダーで曜日の言い方を復習する。	・今日の曜日を言わせてから、1週間の曜日の言い方を漢字と対応させながら言わせるようにする。	カレンダー
展開 (25)	2 「昨日、今日、明日」の言い方を知る。 3 日にちの読み方を知る。 ・1日から10日まで 4 時間割の読み方を知る。 ・「○曜日の○時間目は何ですか。」 ・「○○です。」	・日にちの特別な読み方に気付かせる。 「日」→「か」 「1日」→「ついたち」 ※本時は10日まで ・いくつかクイズ形式で練習させ、定着を図る。	カレンダー フラッシュカード 時間割表
終末 (10)	5 次時の予告を聞く。 ・「から」「まで」の言い方 「○時間目は何時何分からですか。」 「○時○分からです。」 「○時間目は何時何分までですか。」 「○時○分までです。」	・時間があれば、簡単にふれる。	日課表

作成した教具等



時間割表

	月	火	水	木	金
1	国語	算数	算数	国語	算数
2	算数	理科	国語	社会	国語
3	音楽	国語	総合	算数	体育
4	道徳	体育	社会	理科	音楽
5	理科	図工	学活	総合	社会
6		図工	体育		

日課表

朝の会	8:30 ~ 8:45
1時間目	8:45 ~ 9:30
休み時間	9:30 ~ 9:40
2時間目	9:40 ~ 10:25
休み時間	10:25 ~ 10:45
3時間目	10:45 ~ 11:30
休み時間	11:30 ~ 11:40
4時間目	11:40 ~ 12:25
給食	12:25 ~ 13:15
昼休み	13:15 ~ 13:35
清掃	13:35 ~

日課表

朝の会	8:30 ~ 8:45
1時間目	8:45 ~ 9:30
休み時間	9:30 ~ 9:40
2時間目	9:40 ~ 10:25
休み時間	10:25 ~ 10:45
3時間目	10:45 ~ 11:30
休み時間	11:30 ~ 11:40
4時間目	11:40 ~ 12:25
給食	12:25 ~ 13:15
昼休み	13:15 ~ 13:35
清掃	13:35 ~

昨日	今日	明日
きのう	きょう	あした
1日	2日	3日
ついたち	ふつか	みっか
4日	5日	6日
よっか	いつか	むいか
7日	8日	9日
なのか	ようか	こののか
10日	とおか	

日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	課題及び教材
C	初期指導	小学生 高学年	『こどものにほんご』 7課「あめのひ」①

1. 目標 否定形と疑問形の言い方ができる。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (5)	1 今日の天気はなんですか？ ⇒雨です。 2 例文を読む。 (通訳の支援あり) ・友だちの名前に変換して読む。 3 例文の否定形に気付かせる。 ・さんぽしません。	・教師が範読し、復唱させる。 ・教師と通訳が模範例を見せる。	テキスト の例文
展開 (30)	4 否定形の言い方を知る。 ・いきます ⇒ いきません ・のみます ⇒ のみません 5 肯定文を否定文に直す。 例) テレビを見ます。 ⇒ テレビを見ません。 6 疑問形に答えられるようにする。 ・はい、～ます。 ・いいえ、～ません。	・「ます」「ません」のカードを使って、否定形を理解させる。 ・フラッシュカードを使って、練習させる。 ・〇×カードを使って疑問形に答えさせる。	カード フラッシュ カード 〇×カー ド
終末 (10)	7 ワークシートに否定形を書く。 8 学習のまとめをする。	・フラッシュカードで振り返る。	フラッシュ カード

※ 想定している日本語力

- ・簡単な会話ができる。
- ・簡単なひらがなの読み書きができる。

作成した教具等

いきます のみます かきます

いきません のみません かきません

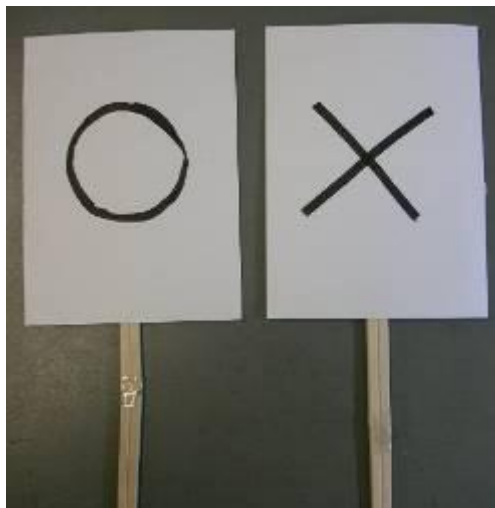
します たべます おきます

しません たべません おきません

いきます → いきません
あらいます → あらいません
のみます → のみません
かきます → かきません
かいます → かいません。

ます。
 ません。

ますか。
○ はい、 ます。
× いいえ、 ません。



日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	課題及び教材
D1	JSL カリキュラム「国語科」	小学生 低学年	光村図書2年下 「お手紙」

1. 目標 がまくんとかえるくんの心情を汲み取って読もうとすることができる。

2. 展開

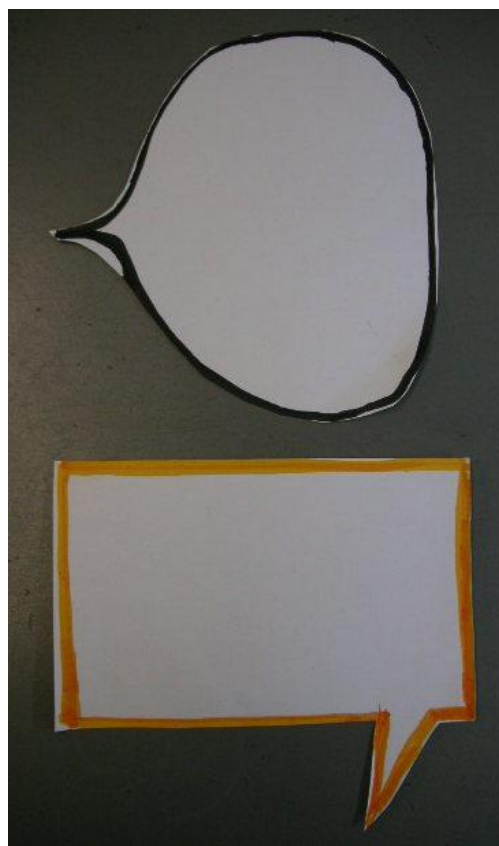
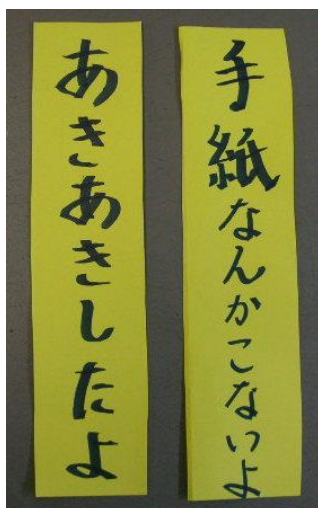
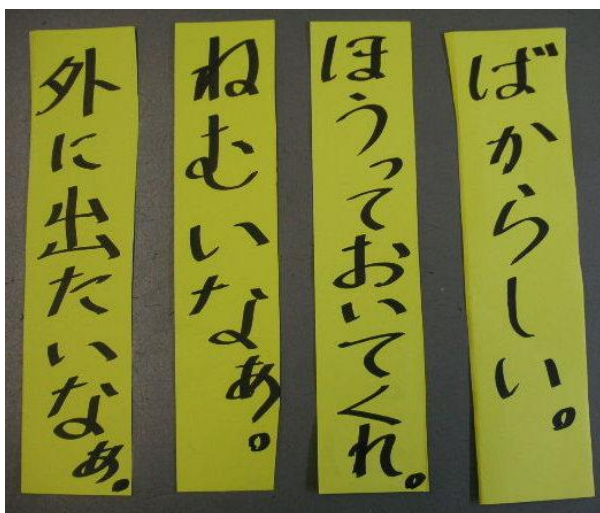
過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (5)	1 範読を聞く。(pp. 5-8)	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までを振り返る。 ・心情が伝わるように聞かせる。 	pp. 5-8 までの挿絵
展開 (30)	2 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> がまくんはなにをおもっているのだろうか。 </div> 3 がまくんの気持ちを考える。 ○感情を表すカード <ul style="list-style-type: none"> ・ねむいんだ ・あきているんだ ・ほっといてよ ・つかれているんだ 4 かえるくんの気持ちを考えて書く。 ○感情を表すカード <ul style="list-style-type: none"> ・わくわくする ・もうがまんできない ・まてない ・まちきれない ・まだかなあ ・どうしたんだろう ・あれえ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ pp. 9-10 の挿絵と文章から、がまくんの様子を考えさせる。 ・ がまくんの気持ちを吹き出しに自由に書かせる。 ・ 気持ちを表す言葉をいくつか表示しておき、気持ちを書きやすくさせる。 ・ かえるくんの気持ちを吹き出しに自由に書けない児童に気持ちを表す言葉をいくつか表示しておき、ヒントにして書きやすくさせる。 	pp. 9-10 の挿絵 吹き出しカード 吹き出しカード

	<ul style="list-style-type: none"> ・あそびにいきたいなあ ・そとにでたいなあ 		
終末 (10)	<p>5 3の場面 (pp. 9-12) を読む。</p> <p>○ 役割を決める。</p> <p>Aさん…がまくん</p> <p>Bさん…かえるくん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部分リライトを作っておき、参考にさせる。 ・がまくんとかえるくんのお面をかぶらせる。 	リライト 文 お面

※ 想定している日本語力

- ・日常語が分かる
- ・平仮名の読み書きができる

作成した教具等



日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	課題及び教材
D2	JSL カリキュラム「国語科」	小学生 高学年	教育出版5年 「言葉と事実」

1. 目標 同じ事実でも伝える人によって、使う言葉が違ってくる。

2. 展開

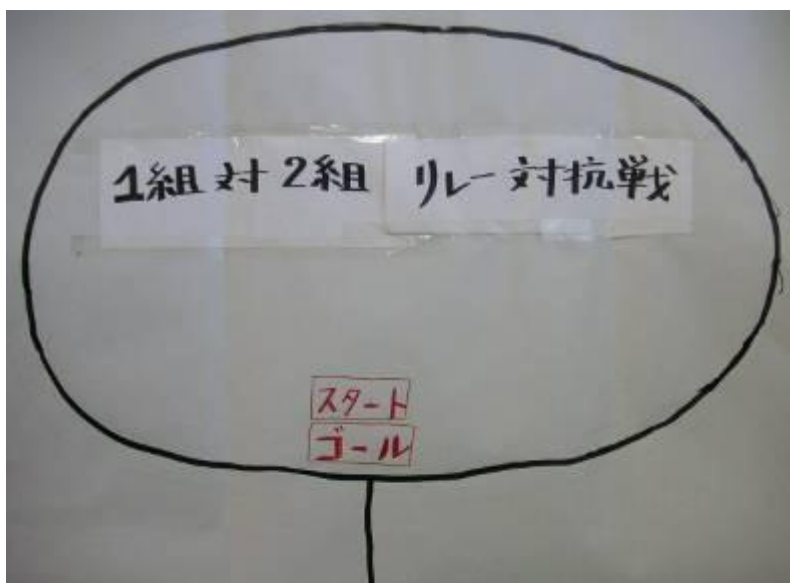
過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (10)	1 リレーの感想を話す。 ・勝てそうだったのに負けた ・勝った ・負けた ・ぬいた ・くやしかった	・子どもの実体験をもとに、自分の言葉で表現させる。	
展開 (30)	2 本文の事実の確認する。 3 実際に人形を動かし、言葉の概念を理解する。 ・勝利 ・大勝利 ・快勝 ・おしくも ・敗れた ・強敵 ・けれども ・逆転 勝ち ・最終 ランナー など	・磁石や簡単な人形を用いて、動きを確認する。 ・人形を動かすことによって、本文中に出ている語句の概念と意味をつかませる。 ・どの立場の人が話す言葉なのか確認させる。	磁石 人形 (ハーフサー ト10体) ゼッケン たすき ワークシ ート
終末 (5)	4 学習したことを短い文で書く。 ・2組は最後で負けた ・1組は強い ・快勝だった など	・子どもの実態に応じて、言葉の持つ印象にもふれたい。	ワークシ ート

- ※ 想定している日本語力
 - ・ 日常会話は不自由ない。
 - ・ 学習言語が不十分。
 - ・ 内容の読み取りに難がある。

※ 単元計画 <先行授業で行う>

- 第1時 全体の通読、語句の意味の確認
- 第2時 第1の場面 初め ~ p.40 10行目 「イソップ物語」
- 第3時 在籍クラスで実体験（体育の時間・リレーの場面を追体験）
感想をメモさせる。
- 第4時 【本時】 第2の場面 p.38 11行目 ~ p.40 「リレーの場面」
- 第5時 第3の場面 p.40 ~ p.40 6行目 「言葉の印象」
- 第6時 第4の場面 p.40 7行目 ~ p.41 12行目 「デパートの話」
- 第7時 第5の場面 p.41 13行目 ~ 最後

作成した教具等





日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	課題及び教材
E	JSL カリキュラム「算数科」	小学生 中学年	啓林館4年 「がい数とその計算」

1. 目標 四捨五入で必要な言葉を知り、切り上げる数と切り捨てる数の判断ができる。

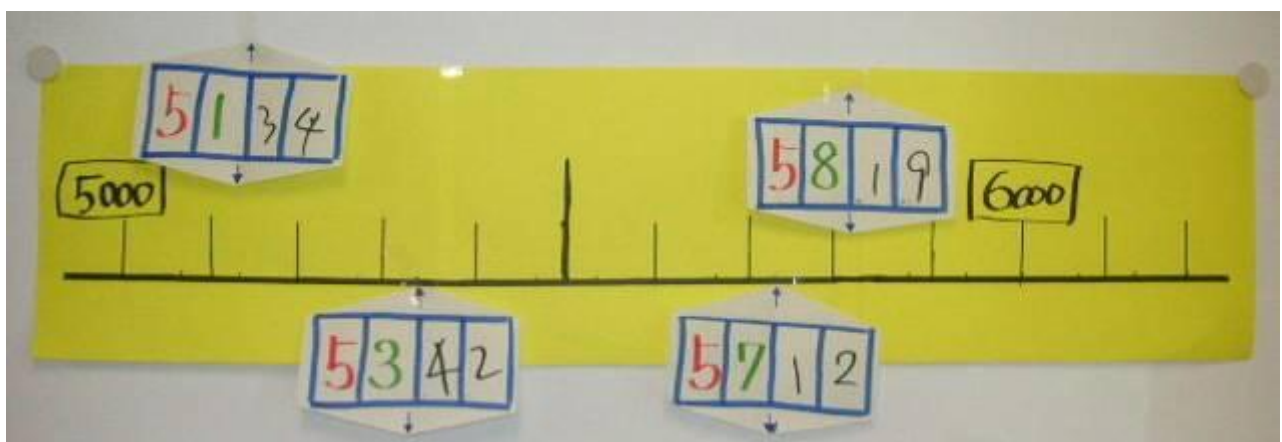
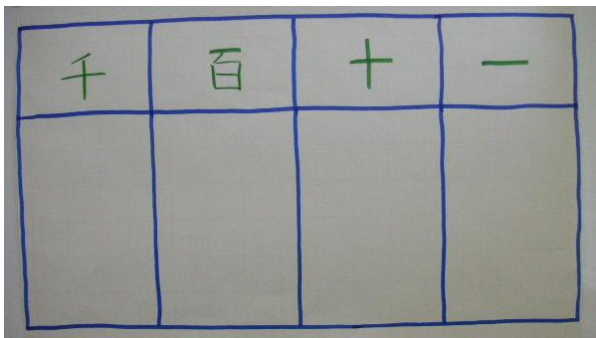
2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (10)	1 あいさつ 2 位取りゲームをする。 ・好きなカードを選んで読む (1桁～4桁まで) ・4桁の数字のうち3桁に好きな数字を入れる。	・桁数を調整しながら4桁まで数を増やす。 ・4桁の数を読ませて一十百千の位を確認する。	数字カード 位取りシート
展開 (30)	3 どこにおこうかな？ ・数直線上に、書いた数字のふせんをはる。 4 どちらに近いでしょう。 ・ふせんの数字を数直線上の数字に近い方にはる。 5 「およそ」、「約」の言葉の意味を知る。 ・声に出して数を読む。 6 およそ5000になるきまりを知る。(四捨五入) ・「切り上げ」、「切り捨て」の言葉の意味を知る。 ・0～9までの数のふりわけの練習をする。	・数直線上に書いた数字の位置がだいたい合うように助言する。 ・間違っていた場合は正しい場所を教える。 ・「およそ」、「約」ととらえて読んだ数を「がい数」だと知らせる。 ・位取り表とカードを用いてきまりに気付かせる。 ・そのきまりが「四捨五入」であることを	数直線 数字を書いたふせん 位取り表 言葉確認用紙 数字カード

		知らせる。	
終末 (5)	7 学習を振り返る ・感想を発表する。	・言葉の理解の度合いを把握する。 ・学習の取り組みを賞賛する。	シール

- ※ 想定している日本語力
- ・来日2年目 日常会話ができる。
 - ・基礎学習の補充が必要。

作成した教具等



すう
がい、数

き あ
切り上げ”

10にはよ
0.1.2.3.4. 5.6.7.8.9
き あ
切り上げ”

き す
切り捨て”

0.1.2.3.4. 5.6
き す
切り捨て”

し しご (すう)
四捨五入
0.1.2.3.4. 5.6.7.8.9

日本語指導略案

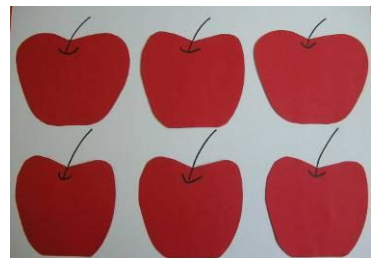
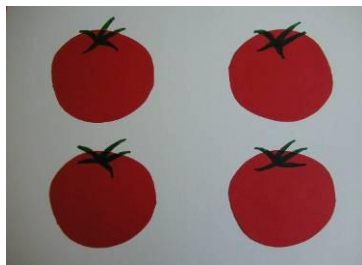
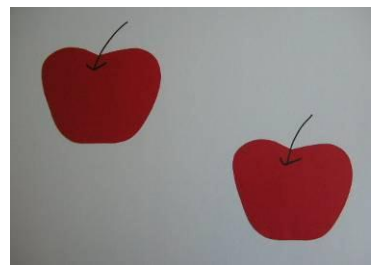
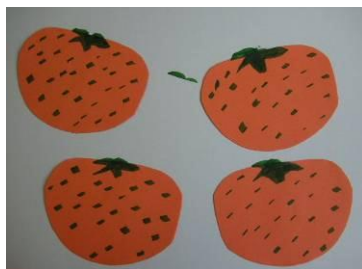
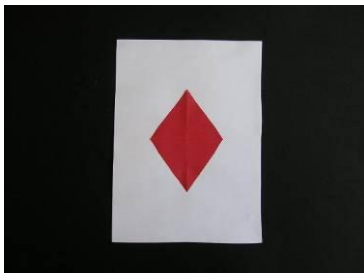
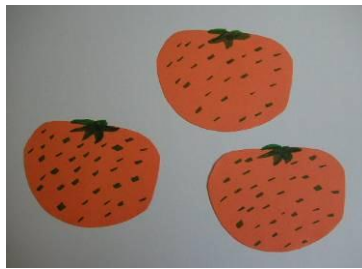
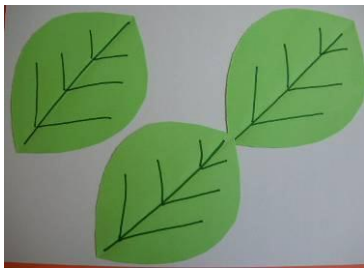
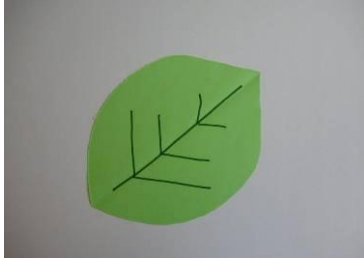
グループ	日本語力	対象	課題及び教材
F	初期指導	中学生	『JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE』 7課「そのリンゴをみつけてください」

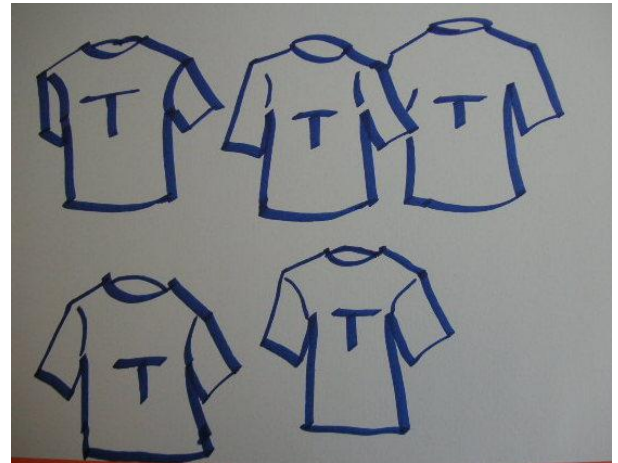
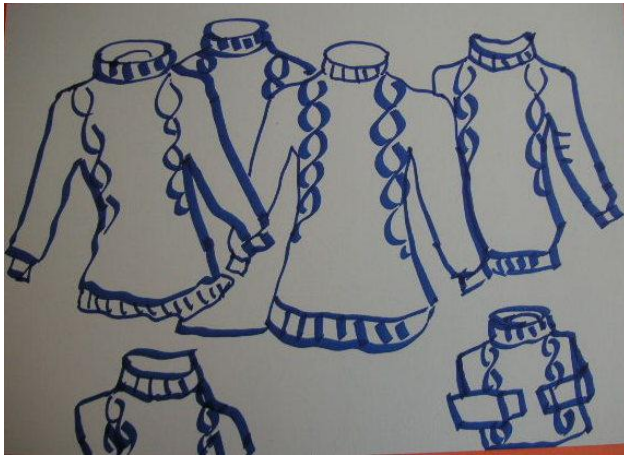
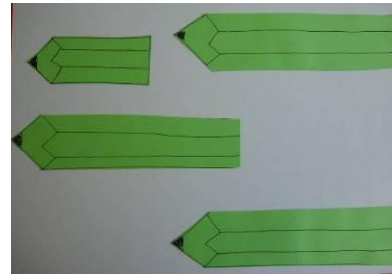
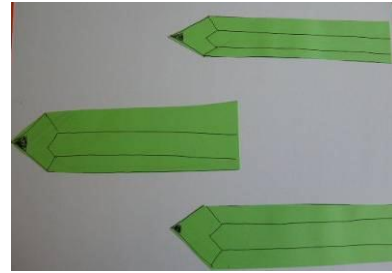
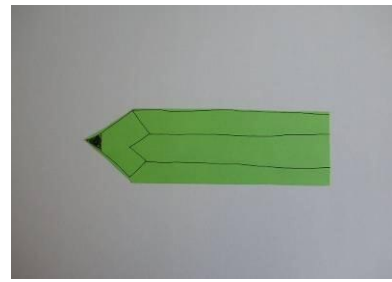
1. 目標 身のまわりの物の名前と数え方・位置関係を知り、疑似の買い物体験ができる。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (5)	1 絵を見せ、ものの名前を確認する。 ・シャツ、セーター、切手 ・パン、アイスクリーム ・ワイン・えんぴつ など	・絵カードや実物を見せる。	絵カード 実物
展開 (30)	2 めあてを知り、学習内容を確認する。 3 ものの数え方を学習する。 (～本、～枚、ひとつ、ふたつ) 4 教師の言った数え方をワークシートに記入する。 5 数え方を読む。 6 お金の言い方を学習する。 (～百、～千)	・生徒に学習のめあてを伝え、学習への意欲関心を喚起する。 ・記入後、正しく書けているか確認して、読ませる。 ・～本の数え方を注意させる。 ・三百と三千の言い方に注意させる。	ワークシート
終末 (15)	7 買い物の疑似体験をする。 A: えんぴつをください。 B: どのえんぴつですか。 A: この(その、あの) えんぴつは一本(枚、つ)いくらですか。 B: □□円です。 A: えんぴつを〇〇本ください。 全部でいくらですか。 B: 全部で△△円です。	・文章の中で数え方とお金の言い方に慣れさせる。 ・違う数え方でも買い物をする。	絵カード

作成した教具等





日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	課題及び教材
G	JSL カリキュラム「国語科」	中学生	教育出版2年 「車イスから見た町」

1. 目標 人に優しくない町の様子を理解する。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (10)	<p>1 教師の質問に答え、文章についての予備知識を喚起させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けがをした時、何が困る？ ・車イスの人は何が困ると思う？ ・車イスにのると困る？ など <p>【キーワード】 「でこぼこ」「踏切」「段差」 「邪魔者」「歩道橋」「車イス」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・車イスの人が抱える問題を自分の問題としてとらえさせる。 	<p>教科書の中の写真 (最初の3つ)</p> <p>車イス (実物) ○×カード</p>
展開 (35)	<p>2 「車イスで困る」ということをどう表現しているか、本文(p. 48の1行目から10行目)から探す。</p> <p>【キーワード】 「〇〇の自由」「保障」 「安全の保障」</p> <p>3 本文(p. 48の11行目からp. 50の1行目)の中から、行動の自由を阻んでいるものを探す。</p> <p>【キーワード】 「みんなの町」「阻む」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の意味について説明する。 ・内容についての質問をして、内容を理解しているかを確認する。 <p>「筆者が望んでいる町」 「行動の自由を阻んでいるもの」 など</p>	教科書以外の写真
終末 (5)	<p>4 人に優しい町づくりを阻害するものを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真やマークなどを見せて気付かせる。 	車印マークなど

※ 想定している日本語力

- ・ 来日 1 年くらい。
- ・ 漢字は小 3 程度の読み書きができる。
- ・ 日常会話はできる。
- ・ 辞書で調べることはできる。

※ 本時は、5 時間中 2 時間目とする。